

《現場紹介》

日野自動車(株)古河工場 第1工場新築工事

関東支店 内田 誠治

本工事は日野自動車(株)様が古河市で進めている本社工場移転に伴う雨水管及び汚水管の布設工事です。施工数量が全線合わせて2km程度有りましたが工期が2ヶ月しか無く、本来なら「経済性」と「施工性」を優先させるところを「工期」と「施工性」を最優先させる為に、当初は開削の設計でしたが非開削の推進工法の施工へと変更となりました。

工期を優先させるには複数の施工班の同時進行で行わなくてはならず、建築工事を含む他工事が輻輳している為、パズルのような工程を組み、クリティカルパスを優先させる努力をしましたが、作業車両を入れる為の動線、作業ヤードを確保する為に鉄板敷きから始まる日々が続きました。雨が降れば敷鉄板の上でも長靴が水没しそうな程ぬかるみ、天気が続けば目が開けられない程の砂埃が舞う劣悪な作業環境の中、各施工班、職員共によく協力していただきました。

地建興業だけで昼勤最大13班70名超という大所帯で会社始まって以来の規模だったと後に西尾専務に聞きました。この規模で通常の現場管理ができるはずもなく、私は元請との打合せ・調整、各種手配関係、工程管理に留まり、それ以外は助けに来てくれた職員の協力で進める事ができました。

昼夜施工、休日返上で無理をしてもらいましたが、工期内に無事故で施工を終える事ができました。思えばわずか2ヶ月で1年くらい働いた濃密な現場だったような気がします。ここまでスゴい規模と工程の

現場管理は一生無いかもしれませんが、良い勉強になりました。機材センター、関東支店、その他現場に来なくても御協力いただいた方々が居てくれたからこそその完工です。ありがとうございます。

また(株)竹中土木様には色々無理を聞いていただき助かり、本当にありがとうございます。



φ1650先導体据付



朝礼

【工事概要】(敬称略)

工 事 名: 日野自動車(株)古河工場第1工場新築工事
 発 注 者: 日野自動車株式会社
 工 事 名: 株式会社竹中工務店
 契約先名: 株式会社竹中土木
 工事場所: 茨城県古河市名崎1番地
 工事期間: 平成24年2月10日~平成24年4月16日
 工事内容

高耐荷力推進

口径	工法	推進延長(m)
φ1350	泥水式	193.50
φ1500	泥水式	85.70
φ1650	泥水式	198.80
φ1650	泥水式	35.22
φ700	泥水式	132.05
φ800	泥水式	122.17
φ1650	泥水式	171.00
φ1650	刃口式	9.81
φ1650	刃口式	2.25
φ1650	刃口式	9.18

低耐荷力推進

口径	工法	推進延長(m)
φ250	TP-40	591.28
φ250	アングルモールV	385.10
φ300	スピーダー	10.65
φ350	スピーダー	12.20

薬液注入

注入本数(本)	設計数量(リットル)
470	367,089

ケーシング立坑

φ1590(基)	φ2090(基)	φ3090(基)
11	23	3

現場担当

職員	所属
内田誠治	関東支店
佐藤稔	
青山征嗣	
岡芳英	名古屋支店
秋好富士男	
水谷康夫	機材センター
若林由英	
石崎照久	
山口洋	

